

以下は、10月31日の公園見学会のあとに、
聴覚障がいがある方、視覚障がいがある方、車いすを利用されている方に板橋区の公園について
思うことを実際に聞いてみたことです。他の方の立場で利用することを想像して、という項目が
ありましたので、ヒアリングしたことを共有させていただきます。

<聴覚障がいがある方>

【赤塚植物園】

3名中1名が実際に行ったことがあり、その方は東京大仏に行ったついでに立ち寄ったとのこと。**植物園には案内板があるので、特に困ることはなかった。**

2名の方は、自分の家から遠く行きにくいので行ったことがないとのこと。

【公園で不便に感じることを、良くしてほしいと思うこと】

- ・トイレの数が少ない。
- ・ボール遊びや水遊びがしたい（小学生と幼児の保護者。30代）
- ・公園に時計はあっても、夕焼けチャイムや音でアナウンスされることは聞こえない。
チャイムはランプの点滅で知らせたり音声アナウンスは目で見てわかるものになると嬉しい。

<視覚障がいがある方>

【赤塚植物園】

それがあるからという理由でわざわざ行こうとは思わないが、「香りの道」の手すりの**点字案内**
について、あるに越したことはない。実際にさわれる、香りをかげるなどは良い。(70代)

【公園で不便に感じることを、良くしてほしいと思うこと】

- ・公園や植物園の「**全体像がつかめるもの**」や「**触知案内板**」があると良い。
フェルトやプラスチック素材などで、全体の構造、水飲み場、トイレ、売店、窓の場所などが
示したボードなど、「さわれる」「イメージしやすい」案内や情報があると良い。
- ・手すりの点字案内は、その場所の案内だけでなく、**全体像をつかんだうえで、自分がどこに**
いるかがイメージできると良い。例えば現在地は★で表し、こっちには何があるか、などがわか
ると便利。
- ・欲を言えば音声ガイド、自分で触れる案内板などがあると嬉しい。
- ・点字ブロックがある場合、道（床）との色のコントラストがはっきりしている方が良い。
例）道が黒→ブロックは白。道が白→ブロックは黒やこげ茶、濃い緑など。

※一般的な黄色の点字ブロックは、道や床が白っぽい場合、弱視の方には見えにくいそうです。

<車いすを利用されている方>

- ・車いすでの移動ルートが極端に凸凹してなければOK。
- ・点字ブロックは車いすには振動があり、おしりが痛くなるが仕方ない。視覚障がいがある方の
ことを考えると、あった方が良い。
- ・(多目的)トイレの場所は、車いすで入りやすい場所だと良い。